

目指すのは、恒久的に実現可能

- シラスが結んだアグリ輪。鹿児島発・循

牛・豚・鶏がいつもそばにいた。

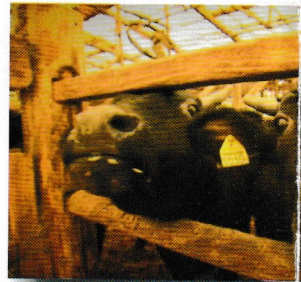
牛豚のふんは肥料として畑に撒き、

育った大根や菜っ葉の捨てる部分がエサになり、

その牛豚が出したふんをまた畑に肥料として撒いていた。

昔から農家が自分の畑で行っていた小さな循環型農業が、

今のアグリワールドが実践する循環型農業のはじまり。



現在、農家は畑だけで終わり、畜産家は肥育だけで終わっている。

収穫時に出る皮や絞ったあとのサトウ飼料として母牛に

それぞれ"点"だけの存在を、

「信頼」という糸で結んでいくことができれば、

安心安全な「命の輪」が出来るのではないか。



頂いたものを、もっと良いものに換えて還す。

これが、アグリワールドが提唱する「命と大地の輪」。

循環型農業への挑戦。



有機堆肥アグリ1 (ワン) を畑に使用し、作物を育てる。